

平成 19 年 度 事 業 の 概 要

財団法人京都大学教育研究振興財団は、その目的を達成するため、平成 19 年度において下記の事業を実施した。

助成総額 95,017,100 円

. 個人助成 (助成事業件数 64件 / 助成額合計 69,487,100円)

国際交流促進助成 (第 1 号 事業) 助成合計額 39,057,100円

(1) 国際研究集会派遣助成(含京セラ・東レ助成) (23件 / 4,100,000円)

単位:円

所 属	職・学年	氏 名	年 齢	国 際 研 究 集 会 名	開 催 国	開 催 地	派 遣 期 間	助 成 金 額
ウイルス研究所	助 教	三 浦 義 治	39	第32回国際ヘルペスウイルスワークショップ2007	アメリカ	ノースカロライナ大学	自 19/07/07 至 19/07/13	200,000
理学研究科	助 教	河 上 哲 生	33	第17回ゴールドシュミット国際会議	ドイツ	ケルン大学	自 19/08/18 至 19/08/26	200,000
工学研究科	助 教	足 立 大 樹	33	第10回先端材料に関する国際会議	インド	バンガロール・グランドア シヨクホテル	自 19/10/07 至 19/10/13	200,000
工学研究科	准教授	荒 木 慶 一	36	構造技術者国際会議2007	インド	バンガロール・グランドア シヨクホテル	自 19/11/02 至 19/11/07	200,000
薬学研究科	助 教	白 川 久 志	29	第37回北米神経科学会年会	アメリカ	サンディエゴ・ コンベンショ ンセンター	自 19/11/02 至 19/11/09	150,000
地球環境学堂	准教授	須 崎 純 一	34	第28回アジアリモートセンシング会議	マレーシア	クアラルン プール	自 19/11/12 至 19/11/17	150,000

所 属	職・学年	氏 名	年齢	国 際 研 究 集 会 名	開 催 国	開 催 地	派遣期間	助成金額
人文科学研究 所	助 教	李 昇 燁	36	米国アジア学会2008年大会	アメリカ	ハイアットリー ジェンシーア トランタ	自 20/04/01 至 20/04/11	200,000
化学研究所	教 授	岡 穆 宏	(指導教員)					
理学研究科	博士課程 1 年	安 喜 史 織	24	第18回国際アラビドプシス研究学会	中 国	北京・国際会 議場	自 19/06/19 至 19/06/25	150,000
アジア・アフリカ地 域研究研究科	教 授	太 田 至	(指導教員)					
アジア・アフリカ地 域研究研究科	博士課程 5 年	佐 川 徹	29	第16回国際エチオピア学会	ノルウェー	ノルウェー科 学技術大学	自 19/06/28 至 19/07/10	200,000
農学研究科	教 授	水 山 高 久	(指導教員)					
農学研究科	博士課程 2 年	梁 偉 立	29	国際水文科学会シンポジウム	イタリア	ペルージャ大 学	自 19/07/08 至 19/07/15	200,000
理学研究科	教 授	柴 田 一 成	(指導教員)					
理学研究科	博士課程 1 年	松 本 琢 磨	25	アジア・オセアニア地球科学学会2007第4回定例 会議	タ イ	バンコク・クイーンシリ キットナショナルコン ベンションセンター	自 19/07/30 至 19/08/04	150,000
防災研究所	教 授	千木良雅弘	(指導教員)					
理学研究科	博士課程 2 年	山崎新太郎	25	第21回水-岩石相互作用国際会議	中 国	昆明国際会 議場	自 19/07/31 至 19/08/10	150,000
人間・環境学研 究科	准教授	津 江 広 人	(指導教員)					
人間・環境学研 究科	博士課程 2 年	石 橋 孝 一	25	第9回国際カリックスアレーン化学会議	アメリカ	カレッジパー ク・メリーランド 大学	自 19/08/05 至 19/08/11	200,000
理学研究科	教 授	今 福 道 夫	(指導教員)					
理学研究科	博士課程 4 年	村 松 大 輔	28	国際動物行動学会第30回大会	カナダ	ハリファクス・ダ ルハウジー大 学	自 19/08/15 至 19/08/24	200,000
工学研究科	教 授	津 野 洋	(指導教員)					
工学研究科	博士課程 1 年	長谷川絵里	24	2007年国際オゾン協会 - 国際紫外線協会共同世 界会議	アメリカ	ロサンゼルス・ハイヤ ットリージェンシー センチュリープラザ	自 19/08/25 至 19/09/01	150,000

所属	職・学年	氏名	年齢	国際研究集会名	開催国	開催地	派遣期間	助成金額
工学研究科	教授	田中勝久		(指導教員)				
工学研究科	博士課程 2年	後藤咲希子	25	ブラッグ格子、ガラス導波路における光感受性とポーリング国際会議	カナダ	ケベック・ロウス・ル・コンコルドホテル	自 19/09/01 至 19/09/08	200,000
工学研究科	教授	引原隆士		(指導教員)				
工学研究科	博士課程 2年	木村真之	25	非線形理論とその応用に関する国際シンポジウム	カナダ	バンクーバー・シモンフレイザー大学	自 19/09/15 至 19/09/22	200,000
工学研究科	教授	川上養一		(指導教員)				
工学研究科	博士課程 2年	上田雅也	28	第7回窒化物半導体国際会議	アメリカ	ラスベガス・MGMグランドホテル	自 19/09/16 至 19/09/23	150,000
薬学研究科	教授	金子周司		(指導教員)				
薬学研究科	博士課程 3年	中尾賢治	26	第37回北米神経科学学会年会	アメリカ	サンディエゴ・コンベンションセンター	自 19/11/02 至 19/11/09	150,000
法学研究科	教授	秋月謙吾		(指導教員)				
法学研究科	博士課程 3年	城戸英樹	28	カナダアジア学会東アジア部会	カナダ	フェアモント・ル・マナー・リシュリューホテル	自 19/11/21 至 19/12/03	200,000
防災研究所	教授	飯尾能久		(指導教員)				
理学研究科	博士課程 1年	野田俊太	24	アメリカ地球物理学連合学会2007年秋季大会	アメリカ	サンフランシスコ・モスコーンセンター	自 19/12/09 至 19/12/16	150,000
化学研究所	教授	堀井文敬		(指導教員)				
工学研究科	博士課程 2年	鈴木慎司	38	アメリカ化学会第235回2008年春季年次大会・展示会	アメリカ	ニューオリンズ・メモリアルコンベンションセンター	自 20/04/04 至 20/04/12	200,000
医学研究科	教授	小川修		(指導教員)				
医学研究科	博士課程 3年	小林恭	34	米国癌学会2008年度年次総会	アメリカ	サンディエゴ・コンベンションセンター	自 20/04/11 至 20/04/18	150,000

(2)海外派遣助成 (18件/31,617,600円)

長期派遣 (12件/28,050,000円)

単位:円

所 属	職・学年	氏 名	年齢	研 究 課 題	派 遣 国	受入機関	派遣期間	助成金額
再生医科学研究所	助 教	山本雅哉	35	幹細胞を利用した生態組織工学による再生誘導のための人工ニッチの創製	アメリカ	コーネル大学	自 19/04/25 至 20/03/31	2,350,000
理学研究科	助 教	稲生啓行	31	複素力学系の放物型分岐とくりこみ	フランス	ポールサバティエ工科大学	自 19/09/11 至 20/09/10	2,550,000
法学研究科	准教授	曾我部真裕	32	視聴者・読者の権利を基底とするメディア法秩序の研究	フランス	パリ第2大学	自 19/10/01 至 20/09/30	2,550,000
工学研究科	助 教	出村嘉史	31	地域における史的景域情報の可視化に関する研究	イギリス	シェフィールド大学	自 19/10/01 至 20/09/30	2,550,000
高等教育研究開発推進センター	助 教	酒井晃二	38	マルチモダリティMRIを用いた統計的病態解析システムの構築に関する基礎的検討	アメリカ	ジョンホプキンス大学	自 19/10/01 至 20/10/01	2,550,000
農学研究科	助 教	河井重幸	35	酵母TORの分子生物学的及び細胞生物学的研究	スイス	ジュネーブ大学	自 20/03/20 至 21/03/19	2,550,000
理学研究科	准教授	中西賢次	33	非線形分散型方程式の時空大域挙動	カナダ	ブリティッシュコロンビア大学	自 20/03/31 至 20/09/30	1,350,000
情報学研究科	助 教	駒谷和範	32	VoIP上での音声対話システム構築ソフトウェアの開発	アメリカ	カーネギーメロン大学	自 20/04/01 至 21/03/26	2,550,000
工学研究科	助 教	張 浩徹	35	液晶性物質における電気化学的電子移動制御に関する研究	イギリス	バース大学	自 20/04/06 至 20/11/30	1,750,000
防災研究所	教 授	河田恵昭	(指導教員)					
情報学研究科	博士課程 2年	城下英行	25	学校における防災教育に関する日英比較研究 教育に対する価値観の側面から	イギリス	ノーザブリア大学	自 19/04/01 至 20/03/31	2,550,000
農学研究科	教 授	白岩立彦	(指導教員)					
農学研究科	博士課程 1年	辻本泰弘	24	マダガスカルにおける「SRI稲作」の実態と多収要因に関する研究	マダガスカル	ローラニエグリオン大学	自 19/08/23 至 20/06/26	2,200,000

所 属	職・学年	氏 名	年齢	研 究 課 題	派 遣 国	受入機関	派遣期間	助成金額
人文科学研究所	教授	田中雅一		(指導教員)				
人間・環境学研究科	博士課程1年	神本秀爾	27	ジャマイカ、ラスタファリ運動の再編に関する文化人類学的調査	ジャマイカ	西インド大学	自 20/06/05 至 21/06/04	2,550,000

短期派遣 (6件 / 3,567,600円)

単位:円

所 属	職・学年	氏 名	年齢	研 究 課 題	派 遣 国	受入機関	派遣期間	助成金額
医学部附属病院	教務職員	北田 雅	39	教育病院 / 非営利病院における質・コストの管理 米国の現状と課題	アメリカ	ペンシルバニア大学病院・トーマスジェファーソン大学病院他	自 19/04/18 至 19/05/04	255,600
情報学研究科	助教	小山里奈	33	アラスカにおける森林火災の植生回復に関する研究 窒素動態の変化に対する植物の反応	アメリカ	アラスカ大学	自 19/05/31 至 19/08/29	748,000
医学研究科	助 授	千葉陽子	36	ケニア西部の2県における分娩データの分析	ケニア	キスムメディカルエデュケーショントラスト	自 19/08/03 至 19/08/25	351,800
医学研究科	教授	野間昭典		(指導教員)				
医学研究科	博士課程4年	姫野友紀子	29	英国における統合生理学の位置づけについて	イギリス	オックスフォード大学	自 19/04/25 至 19/07/24	750,000
地球環境学堂	教授	小崎 隆		(指導教員)				
農学研究科	博士課程2年	杉原 創	26	熱帯半乾燥地における有機物施用が作物生育を向上させるメカニズムの解明 土壌微生物から放出される養分に着目して	タンザニア	ソコイネ農業大学	自 19/05/09 至 19/07/25	712,200
生態学研究センター	教授	永田 俊		(指導教員)				
理学研究科	博士課程3年	小林由紀	43	細菌間相互作用による細菌の捕食抵抗性獲得の研究	オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	自 19/07/30 至 19/10/31	750,000

(3)外国人研究者招へい助成 (5件/3,339,500円)

長期招へい (1件/2,300,000円)

単位:円

所 属	職	氏 名	年齢	研 究 課 題	国・機関・職名	招へい期間	助成金額
地球環境学堂	准教授	ラジブ・クマール・ショウ	(受入教員)				
	チャン マイ キエン Tran Mai Kien	37	日本とベトナム中部における気候変動影響評価とコミュニティレベルの対策への反映	ベトナム・環境省気象水文研究所・上級研究員	自 19/06/04 至 20/06/03	2,300,000	

短期招へい (4件/1,039,500円)

単位:円

所 属	職	氏 名	年齢	研 究 課 題	国・機関・職名	招へい期間	助成金額
医学研究科	教 授	塩 田 浩 平	(受入教員)				
	フィリップ マークス Philip E. Mirkes	63	哺乳類の発生におけるストレス反応に関する分子細胞生物学的研究とプロテオミクス解析	アメリカ・テキサスA & M大学・教授	自 19/07/05 至 19/07/18	266,200	
化学研究所	助 教	柘 植 知 彦	(受入教員)				
	チュ リー ジャ QU Li-Jia	39	葉身の平たさを維持する分子メカニズムの解明	中国・北京大学・教授	自 19/07/11 至 19/07/24	216,200	
教育学研究科	助教授	渡邊洋子	(受入教員)				
	リュウ ケイチン 陳 慧 珍	51	日本国立大学法人制度分析	中国・北京師範大学教育学院・副教授	自 19/09/12 至 19/09/28	241,100	
防災研究所	助教授	横松宗太	(受入教員)				
	ドナルド マーク Donald Marc キルガー Kilgour	60	Techno-Social Network 社会におけるクリティカル・インフラストラクチャーと災害リスクガバナンスに関する研究	カナダ・ローリエ大学・教授	自 19/11/27 至 20/02/09 のうちの22日間	316,000	

教育研究活動推進助成 (第 2 号 事業)

助成額 21,470,000円

学術研究活動推進事業 (12件 / 21,470,000円)

単位:円

代表者の所属・職・氏名	事業内容	事業期間	助成金額
化学研究所 助教 柘植知彦	共同研究: 生物の環境応答に関わる情報伝達制御メカニズムの動植物間比較解析 京都大学・イエール大学・理化学研究所	自 19/04/01 至 20/03/31	2,000,000
教育学研究科 准教授 駒込 武	共同研究: 植民地朝鮮における日本人社会の研究 聞き取りと回想録によるライフコース分析 京都大学・ソウル	自 19/04/01 至 20/03/31	1,550,000
ウイルス研究所 教授 影山龍一郎	シンポジウム開催: 第4回塩基性ヘリックス・ループ・ヘリックス遺伝子国際シンポジウム 発生と疾患 京都大学医学部芝蘭会館	自 19/05/17 至 19/05/18	1,080,000
化学研究所 准教授 辻井敬亘	シンポジウム開催: 京都大学化学研究所国際シンポジウム2007 精密高分子集合体の科学と技術 京都大学医学部芝蘭会館	自 19/06/11 至 19/06/13	1,950,000
工学研究科 教授 加藤直樹	シンポジウム開催: The Kyoto International Conference on Computational Geometry and Graph Theory 京都大学百周年時計台記念館	自 19/06/11 至 19/06/15	2,000,000
情報学研究科 教授 岩間一雄	研究集会開催: 第7回量子情報科学に関する国際会議 京都大学医学部芝蘭会館	自 19/09/02 至 19/09/06	1,620,000
再生医科学研究所 教授 中辻憲夫	シンポジウム開催: 再生医療に関する京都大学再生医科学研究所国際シンポジウム 京都大学医学部芝蘭会館	自 19/09/19 至 19/09/20	1,960,000

代表者の所属・職・氏名	事業内容	事業期間	助成金額
基礎物理学研究所 准教授 村瀬雅俊	シンポジウム開催：生命とは何か？湯川のこれから100年の夢 コープイン京都	自 19/10/15 至 19/10/20	2,000,000
経済学研究科 准教授 久野秀二	研究集会開催：TB京都会議2007 農業開発に向けたバイオテクノロジーの再構築を考える 京都大学医学部芝蘭会館	自 19/11/03 至 19/11/04	1,970,000
地球環境学堂 教授 三室守	研究集会開催：第7回光合成生物におけるテトラピロール光受容体に関する国際会議 京都テルサ	自 19/12/09 至 19/12/14	1,960,000
教育学研究科 教授 子安増生	シンポジウム開催：心の高次制御機能に関する国際シンポジウム 京都大学百周年時計台記念館	自 19/12/05 至 19/12/06	1,930,000
文学研究科 教授 伊藤邦武	研究集会開催：分析哲学から見た東洋思想 京都大学百周年時計台記念館	自 20/03/18 至 20/03/20	1,450,000

学術研究書刊行助成 (第4号事業) 助成額 8,960,000円

学術研究書刊行事業 (6件 / 8,960,000円)

単位:円

所属	職・学年	氏名	年齢	学術研究書題名	出版者	刊行日	助成金額
文学研究科	教授	石川義孝	54	人口減少と地域 人口地理学からのアプローチ	有限責任中間法人京都大学学術出版会	19年 8月	1,500,000
文学研究科	教授	勝山清次	58	南部寺院文書の世界	株式会社思文閣出版	19年10月	1,660,000

所 属	職・学年	氏 名	年齢	学 術 研 究 書 題 名	出 版 者	刊 行 日	助成金額
法学研究科	教 授	待鳥 聡史	36	日本の地方政治 二元代表制政府の政策選択	財団法人名古屋大学出版会	19年11月	1,400,000
基礎物理学研究所	教 授	嶺重 慎	49	Black Hole Accretion Disks Toward a New Paradigm	有限責任中間法人京都大学学術出版会	20年 2月	1,500,000
東南アジア研究所	准教授	石川 登	47	国境の履歴 ボルネオにおける国家空間の生成と変容	有限責任中間法人京都大学学術出版会	20年 3月	1,500,000
人間・環境額研究科	准教授	多賀 茂	45	アイデアと制度	財団法人名古屋大学出版会	20年 3月	1,400,000

・ 大学の全体計画事業助成 (申請事業件数8件 / 助成額合計 25,530,000円)

国際交流促進助成 (第1号事業) (申請事業件数3件 / 助成額 11,710,000円)

京都大学国際シンポジウムの開催

京都大学の誇る学術研究を世界に発信し、研究情報交換および研究者交流を行い、研究面における国際貢献・国際交流の進展を図る。

第9回京都大学国際シンポジウム：『人間の安全保障のための地球環境学』の開催経費

地球環境学の統合・体系化と、ローカル・ナショナル・リージョナル・グローバルレベルでの重層的な環境マネジメントの成果と課題を明らかにし、政策的な提言も含め世界に向けて発信する。地球環境学堂・学舎の5年間の学際的教育研究成果を発信し、京都サステナビリティイニシアティブ、フィールド科学研究センターとともに今後の地球環境学の展開方向を討議する。また、国連大学や国連環境計画、国連地域開発センター及び国内外の諸大学と協力して、人間の安全保障のための地球環境学における日本の国際協力のあり方を議論する。

開催期間：平成19年6月22日～23日

開催場所：京都大学百周年時計台記念館

参加人員： 研究者・大学院生等 約400名(参加：日本、アメリカ合衆国、イギリス、インド、イラン、オーストラリア、韓国、スリランカ、ベトナム、マレーシア)

第10回京都大学国際シンポジウム：『活地球圏科学』の開催経費

人と自然の共生を図る上で重要な領域 リソスフェアから超高層大気までを「活地球圏」と定義し、その変動現象の解明を目指して、地球上で最大の変動域であるアジア・オセアニアにCOE拠点を作り、これらの国々の研究者と共同して京都大学のフィールド科学の伝統に立脚した教育研究活動を展開しているが、地球科学分野の世界的リーダーを招いて最新の研究成果を発信するとともに、アジアと欧米、若手と中堅を繋ぐ研究者ネットワークの構築を図る。

開催期間： 平成19年7月26日～28日

開催場所： シェラトン・バンドン・ホテル&タワーズ(インドネシア・バンドン)

参加人員： 研究者・大学院生 約200名(参加：日本、韓国、中国、台湾、フィリピン、ラオス、ベトナム、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、インド、バングラデシュ、ナイジェリア、イギリス、アメリカ合衆国)

大学間学術交流協定締結校との交流事業

京都大学が学術交流協定を結んでいる海外71大学のうち、交流協定に基づく研究者交流の実績を積み、双方の受入体制が整っている3大学との間で、研究者の相互交流を積極的に行い国際交流を推進するとともに、交流校を基点にしてネットワークを広げ、学術研究上の国際的リーダーシップを獲得していく。

ルイ・パスツール大学、ウィーン大学との研究者相互交流に要する渡航費・滞在費

ルイ・パスツール大学： 研究者招へい1名

ウィーン大学： 研究者派遣3名、研究者招へい1名

国際大学連合事業(APRU・AEARU)への参画

組織的国際活動として、APRU(環太平洋大学協会)やAEARU(東アジア研究型大学協会)に加盟し、その中核大学として、教育・研究の分野から、地域社会の発展や問題解決に貢献するとともに、研究者の相互交流を積極的に行い国際的学術コミュニケーションの形成や次世代研究者の育成を図る。

APRU(環太平洋大学協会)関連事業参加経費

第2回APRU学部学生サマープログラム / 平成19年7月16日～7月29日・復旦大学

第8回APRU博士課程学生会議 / 平成19年7月30日～8月3日・慶應義塾大学

第8回APRU遠隔教育とインターネット会議 / 平成19年12月12日～12月15日・チェラロンコン大学

AEARU(東アジア研究型大学協会)関連事業参加経費

AEARU学生サマーキャンプ2007ジェネラル / 平成19年8月19日～8月25日・国立台湾大学

AEARU第9回分子生物学・生物工学ワークショップ / 平成20年3月25日～26日・香港科技大学

APRU・AEARU合同事業参加経費

第3回APRU・AEARUリサーチシンポジウム「環太平洋地震災害に備える

地震・津波・火山現象の多様性とその危険性」

/ 平成19年6月21日～22日 インドネシア大学

教育研究活動推進助成 (第2号事業) (申請事業件数2件 / 助成額 5,000,000円)

京都大学未来フォーラムの開催

京都大学の学生に対し、国際的視野、社会・経済の変化に対応しうる幅広い視野で活躍する人々を招いて講演と意見交換の場を提供し、講演者を通じて得られる社会からの情報還元により、学生自身が総合的な判断力を養い、社会の中で幅広く物事に対処できる自己の確立、学習・研究意欲の向上を図ることにより、自己研鑽及び意識改革へとつなげる。

第28回～第32回京都大学未来フォーラム開催経費

開催場所: 京都大学百周年時計台記念館

第28回	4月16日「次世代ネットワークへの取り組みとその目指すもの」	日本電信電話株式会社 社長	和田紀夫
第29回	6月29日「文化と文化財 文化を支える文化財の機能」	京都国立博物館長	佐々木丞平
第30回	9月19日「持続可能な社会へのライフスタイル」	石川県立大学教授	綾辻行人
第31回	12月20日「大学発ベンチャーの未来と京都大学」	株式会社ドリコム 代表取締役	内藤裕紀
第32回	2月15日「教育再生の夢と大学改革」	日本学術振興会 理事長	小野元之

学生交流協定校への短期学生派遣

京都大学が留学生受入れのプログラムである「国際教育プログラム」に対応する「大学間交流協定に基づく派遣留学制度」として実施するもので、京都大学の学部または大学院に在籍しつつ、1学期以上1年以内の期間、協定校で教育を受けて単位取得、研究指導を受ける。

学生交流協定校への学生28名の派遣経費(往復航空運賃の補助)

(アメリカ/ジョージ・ワシントン大学1名、ハワイ大学2名、ペンシルバニア大学1名、オーストラリア/シドニー大学1名、オランダ/コトレヒト大学2名・ライデン大学1名、カナダ/ウォータールー大学3名・コンコルディア大学1名、トロント大学2名、スイス/ローザンヌ大学2名、スウェーデン/ウプラサ大学1名、ストックホルム大学1名、タイ/チュラロンコン大学1名、ドイツ/フンボルト大学2名、ベルリン自由大学1名、フランス/マルク・ブロック大学3名、ルイ・パスツール大学1名、ベルギー/ルーバン・カトリック大学2名)

社会連携推進助成 (第 5 号 事業)

(申請事業件数3件 / 助成額 8,820,000円)

京都大学春秋講義の開催

京都大学での学術研究活動を広く一般市民に公開して、社会との連携を深める。京都大学の各部局において開催される公開講座は、それぞれの専門領域を反映した講座となっているが、京都大学春秋講義では、京都大学の持つ総合性の魅力を発信していく機会として期待されている。

京都大学春秋講義(2007年春季講座・秋季講座)の開催経費

開催場所:京都大学百周年時計台記念館

[2007年春季講座]

月 曜 講 義 / 京都大学百周年時計台記念館 メインテーマ: こども

5月7日 「京の味わいをこどもに」

農学研究科教授 伏木 亨

5月14日 「子どもが心を理解するとき」

教育学研究科教授 子安 増生

5月21日 「これからの小児医療」

医学研究科教授 中畑 龍俊

水 曜 講 義 / 京都大学桂キャンパスローム記念館

5月16日 「地震を知って震災に備える」

総長 尾池 和夫

5月23日 「西山から世界へ 竹の世界をのぞく」

農学研究科教授 西田 律夫

5月30日 「竹の化学」

副学長・工学研究科長 西本 清一

【2007年秋季講座】

月曜講義 / 京都大学百周年時計台記念館	メインテーマ: 「木」	アジア・アフリカ地域研究研究科 教授	竹田 晋也
10月29日	「熱帯アジアの森を歩く」		
11月5日	「21世紀の木材利用 楽器からバイオ自動車まで」	生存圏研究所教授	矢野 浩之
11月12日	「木と文化財」	京都大学名誉教授	伊東 隆夫
水曜講義 / 京都大学百周年時計台記念館		アジア・アフリカ地域研究研究科 教授	小杉 泰
10月31日	「現代のイスラーム社会 暮らしと発想法」		
11月7日	「人にやさしい医療技術の育ち方」	工学研究科教授	富田 直秀
11月14日	「ミステリの愉しみ アガサ・クリスティ オリエント急行の殺人」を読む	文学研究科教授	若島 正

京都大学・大阪フォーラムの開催

産学連携や社会貢献への積極的展開として、政治・経済・行政の中心である東京において、産業界、学界、マスコミ、関係省庁等に対し、京都大学における産学連携の取り組みや最新の研究活動に関する情報を発信する。

京都大学・大阪フォーラムの開催経費

平成20年2月8日 ホテル大阪ベイトワー

メインテーマ: 「産官学連携の新たなステージに向けて 卓越した知の創造と活用からイノベーションへの創出へ」

京都大学附置研究所・センターシンポジウムの開催

京都大学の附置研究所・センターの活動や研究の成果を広く社会に発信する。学界・産業界の専門分野の研究者 技術者の情報交換・普及を図るとともに、関連企業や一般市民を対象に、研究所やセンターの教育・研究活動への理解を深める。

平成19年度京都大学附置研究所・センターシンポジウムの開催経費

平成20年3月8日 横浜新都市ホール

テーマ: 京都からの提言 21世紀の日本を考える 『人間と自然 新たな脅威と命を守るしくみ』

講演: 「ES細胞の驚異的能力と可能性 なぜ万能細胞とよばれるのか」(物質-細胞統合システム拠点長 中辻憲夫)

「人工多能性幹(iPS)細胞が作る新しい医学」(物質-細胞統合システム拠点教授 山中伸弥)

「ウイルスと生命と病気」(ウイルス研究所副所長 松岡雅雄)

「放射線や紫外線にみるDNAの傷と生物の危機管理」(放射線生物研究センター長 小松賢志)

「生態学が浮き彫りにする“いまそこにある危機”」(生態学研究センター長 高林純示)